



記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

調査者氏名

年産	作物	都道府県	地域センター	作柄表示地帯	作況階層	標本単位区	筆番 通し号
西暦	水稻						
2 0	:	:	1 1 0	:	:	:	:

市町村	旧市町村	農業集落	調査区	経営体	緯度 度 分	経度 度 分	標高 m
:	:	:	:	:	:	:	:

共済引受方式			筆種類		地方設定コード								継続年数
一筆	半相殺	全相殺	標本筆	基準筆	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	2	3	1	2	:	:	:	:	:	:	:	:	

筆の所在地	市町村	大字	丁目	番地	電話番号
耕作者住所	市町村				農家の刈取り予定日 月 日

1 観察・聞き取り事項

品 種 (品種名)	種 類	作 期					普通作区分			栽 植 法						種 期 月 日	田 植 期 月 日	出 穂 期 月 日
		早 期	普 通	一 期 作	二 期 作	早 生	中 生	晩 生	機械植え 種 苗	中 苗	成 苗	手 植 え	ほ ぼ ま き					
:	:	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	5	6	:	:	:	

農家の刈取り期 月 日	刈取り時の倒伏程度					農家の刈取り方法				筆の作付面積 a	逃し筆	肥培管理の良否		選別しているか	にしている幅	玄米選別形態	
	I	II	III	IV	V	普通型	コンバイン	バインダ	刈脱バ			条数	良				否
:	1	2	3	4	5	1	2	3	4	:	:	1	2	3	:	:	:

(作況基準筆調査のみ)

間断かん水								中干し				深水管理( )回				高温時のかけ流し( )回			
開始期日		終了期日		開始期日		終了期日		開始期日		終了期日		開始期日		終了期日		開始期日		終了期日	
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

落 水 期 月 日	施 肥 期 日								10a当たり窒素投入量										
	基 肥		追 肥						基 肥		追 肥								
			中間追肥		穂 肥		実 肥		(銘柄)		(銘柄)		(銘柄)						
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

窒素投入量つづき		10a当たり有機質肥料投入量					除 草 剤 回	散 布 回	病 害 除 回	土 性		
追肥つづき										砂 壤 土	壤 土	埴 土
実 肥		たいきゅう肥	緑 肥	生 わ ら	そ の 他		回	回	回	1	2	3
(銘柄)		(種類)	(種類)	(種類)	(種類)	kg				kg	kg	kg
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	1	2	3

(記入注意)

- 倒伏程度は、全倒伏(I)、一部穂が地につく(II)、半倒伏(III)、直立と半倒伏が半々(IV)、倒伏なし(V)に区分し、該当番号を○で囲む。
- 緯度、経度、標高及び土性欄については関連資料に基づき記入すること。
- 10a当たり窒素投入量については、数回に分けて施肥する場合、その合計量を記入すること。

4 2 1 1

## 2 栽植密度

畝幅・株間測定	畝幅	11けい間の長さ			株間	11株間の長さ			1 m <sup>2</sup> 当たり株数(けい長)	刈取り数		
	I				cm				cm			
	II											
	III											
	合計	(1)				(2)				株	株	株
	平均	(3) (1)/30				(4) (2)/30				株	株	株
(5)	1 m <sup>2</sup> 当たり株数	$\frac{10,000}{(3) \times (4)}$			株	1 m <sup>2</sup> 当たりけい長			$\frac{10,000}{(3)}$	cm		

## 3 刈取り調査

刈取り日	月 日		露	有	無										
刈取り方法	3 m <sup>2</sup> 当たり 整数株刈り	①	調製方法	総合選別機	①										
	3 m <sup>2</sup> 刈り	②		段ぶるい	②										
刈取り試料	全量				縮分重量				千粒重	1回		2回		合計	
	未調製生もみ重				g					粗玄米	重量	g	g	g	
	未調製乾燥もみ重				g				重		粒数	粒	粒	粒	
	粗玄米重				g					測	重量	g	g	g	
	玄米重				g				くず米		粒数	粒	粒	粒	
	くず米重				g					再選別歩合					
玄米水分				%											

段別重量測定	総量		2.20		2.10		2.00		1.95		1.90	
	1回	g		g		g		g		g		g
2回	g		g		g		g		g		g	
合計	g		g		g		g		g		g	
	1.85		1.80		1.75		1.70		1.60		底	
	g		g		g		g		g		g	
	g		g		g		g		g		g	

調査箇所略図	標本単位区内	生育、登熟の特徴
全けい数 n = けい	水稻作付筆数	
間隔 $\frac{1}{3}$ n = けい	筆	
ランダム		
スタート a = 第 けい		

(記入注意)

- 1 合筆の上調製した場合は、合筆調製整理表から千粒重等を転記する。
- 2 総合選別機により調製した場合のくず米重は1.6mm目以下、粗玄米重は玄米重とくず米重の合計重量とする。

#### 4 草丈・茎数・穂数・もみ数調査

調査所	調査株号	月 日調査		月 日調査					月 日調査					月 日調査			
		草丈	茎数	全穂数 (茎)	無効穂数	有効穂数	効数	全もみ数 最高穂	もみ数 下・2	全穂数 (茎)	無効穂数	有効穂数	効数	全もみ数 最高穂	もみ数 下・2		
I	1	cm	本	本	本	本	本	粒	粒	本	本	本	本	粒	粒		
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
II	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
III	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
合計	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)					
平均(M)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$							
1㎡当たり(M)×(5) ただし(22)=(18)×(21)	(19)	(20)	(21)	(22) 100粒	(20)	(21)	(22) 100粒										

(記入注意)

- 1 穂数調査ですじまき(植)の場合は60cm間について調査する。
- 2 出穂開花期に当たり周辺4箇所調査を行う場合は、ほ場の4辺の中央において第4列目の10株ずつ、合計40株を調査する。ただし、次回に規定の箇所ですじまきについて調査を行う。
- 3 全もみ数調査は、筆内の穂数調査箇所ごとに3、4、3、計10株について行う。調査株は箇所ごとの平均有効穂数に近い株とし、調査方法は当該株有効穂の最高穂とかん長順位で下位より2番目の穂の全もみ数を調査する。

5 稔実歩合調査（作況基準筆調査のみ）

出穂期後		日調査		( 月 日 調査)			
(23) 株の有効穂数の合計		本		(24) 株の生穂重 g			
(25) 株の生もみ重		g		(26) 株の生もみ重 g			
うち上記の100g（又は50g）について調査	回数	比重選により浮いたもみのうち		比重選により沈んだもみのうち		全もみ数	
		不稔実もみ数	稔実もみ数	不稔実もみ数	稔実もみ数		
	1回	粒	粒	粒	粒	粒	
	2回						
	合計		(イ)	(ロ)	(ハ)	(A)	
(B) 沈下もみ数 (ロ)+(ハ)		粒		(C) 稔実もみ数 (イ)+(ハ)		粒	
(26) 100g調査より	株当たり	(単位)		(31) 生穂重(24)/(23)	g	(35) 生穂重(24)*(27)	g
(27) 株当たりより	1m <sup>2</sup> 当たり	有効4けた	1穂当たり	(32) 全もみ数(28)/(23)	粒	(36) 全もみ重(25)*(27)	g
(28) 全もみ数(A)×(26)	粒		(33) 沈下(29)/(23)	粒	(37) 全もみ数(28)*(27)	(100粒)	: : :
(29) 沈下もみ数(B)×(26)	粒		(34) 稔実(30)/(23)	粒	(38) 沈下(29)*(27)	(100粒)	: : :
(30) 稔実もみ数(C)×(26)	粒				(39) 稔実(30)*(27)	(100粒)	: : :
(40) 沈下もみ数歩合	(38)/(37)	%	(41) 稔実歩合	(39)/(37)	%		

(記入注意) 調査株数は地方農政局長、北海道農政事務局長、沖縄総合事務局長又は取りまとめた地域センター長が定める

6 被害・共済減収調査

被害状況	被害の種類	発生時期	損傷項目	損傷程度	見積り被害歩合	平年比較			
						総合	多	並	少
						気象被害	多	並	少
						病害	多	並	少
						虫害	多	並	少

実測筆の10a当たり見積り収量	10a当たり未調製生もみ重(kg)	回掃線(Y)	掃線中の10a当たり収量(kg)	図表から選んだ点10a当たり収量(Y)%	図表から選んだ10a当たり収量(kg)	選んだ理由(晴天続き・雨天早刈り・適期刈り被害甚・中・軽その他)	10a当たり筆平均見積り収量(kg)
-----------------	-------------------	--------	------------------	----------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------

通し番号	標本筆の字地番	引受方式及び補割割合①	方割超2割別過判定②	10a当たり共済基準収穫量③	10a当たり平年収量④	10a当たり見積り収量⑤	10a当たり基準収量⑥	見積り被害歩合													
								被害総合													
調査筆				kg	kg	kg	kg														
(1)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(2)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(3)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(4)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(5)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(6)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
(7)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

←←← 入力方向